

地域と公民館をつなぐふれあい広場 2012・春

つるみね

公民館だより NO. 82 開館30周年記念号

編集・発行 茅ヶ崎市立鶴嶺公民館 茅ヶ崎市萩園 2028-55
TEL/FAX 0467-87-1103 メール/kou_tsurumine@city.chigasaki.kanagawa.jp

● 追想・鶴嶺の春 ●

この時期、田んぼのあぜ道や土手には蓬（よもぎ）の芽が出始めます。子どもの頃、母が作ってくれる草団子が食べたくて、よくこの芽を摘んで帰ったものです。今はすりこ木を使って簡単に作っていますが、当時は臼（うす）でついて、手間暇かけていました。それにしても、田んぼのあぜ道がだんだん少なくなっていくのは寂しいものですね。(0)



うめびより
梅日和
あふ
単線ホームに入
溢れ

うめこ

早春の香り

春夏秋冬カメラの題材に事欠かない場所「小出川」
紅梅・白梅咲き乱れているではありませんか！（浜園橋～新鶴嶺橋）
思わず顔を近づけると、「これが梅の香り」
しかし、「香り」まで撮影できないのが残念の1コマです。

田村 順一（鶴嶺写真クラブ）



主な記事

- 2～3面・《特集》祝 公民館 30周年 米山館長に直撃インタビュー！
「お楽しみ企画や記念事業満載で、皆様のご来館をお待ちしています」
- ・『30周年記念ミュージック・イン・ニューイヤーコンサート』レポート
- ・『公民館まつり』見どころガイド
- 4～5面・つるみね探訪／親子で行く！防災体験バスツアー／子育てママのリフレッシュ体操
- 6～7面・サークル紹介「サブカル倶楽部」／公運審だより／利用懇だより／遊々クラブ
- 8面・講義室LED化に感謝状／春の主催事業／短歌／原稿募集／モニター募集ほか

祝 公民館 30周年



今年は公民館の30回目のお誕生日。お楽しみ記念企画が盛りだくさん！ 米山館長に直撃インタビュー！



ポスター／田中君子さん
(浜之郷)の作品



建築工事が進む公民館。公民館のアルバムに残されていた1枚。(昭和57年)

米山 そうですね。バックナンバ―は、少ない号でも10部ほどあ

『つるみね』のバックナンバーを展示したりする「懐かしの公民館展」などもいいですね。

「古い公民館の写真やこの講演会などを予定しています。」

米山 『ニューイヤークンサート』(下段コラム)の次は『公民館まつり』での記念展示、秋には記念講演会などを予定しています。

「特別なこと、例えば記念事業などの予定は？」

米山 当館は茅ヶ崎市で2番目に古い公民館で、昭和57年に開館しましたが、30周年を迎えることができて、大変光栄なことだと思

う反面、正直プレッシャーも感じています。

——公民館もめでたく開館30周年、ひと言「感想を。」

「お楽しみ企画や記念事業満載で、皆様のご来館をお待ちしています」米山明夫館長。



りますし、古い写真もありますから、それらの資料を展示することも考えたいですね。

米山 15周年、20周年にも皆さんの協力で記念誌を出しています。今回はまだ具体的なことは決まっていますが、ぜひ出したいと考えています。この記念誌を含めて30周年記念事業について、これから皆さんのご協力を求めています。実は館長は私でちょうど10人目ですが、元館長さん方との座談会なども考えているんですよ。

それは楽しそうですね。記念事業にも、歴代館長さんをお誘いしたらいかがでしょうか。それと『つるみね』に連載されていた藁品彦一先生の『鶴嶺の郷』

つるみねニューイヤークンサート

「つるみねの音初め」としておなじみの『ニューイヤークンサート』も回を重ねて55回目。さらに今年は公民館開館30周年記念ということで、会場を市民文化会館小ホールに移して、1月21日(土)、盛大に開催されました。

あいにくの冷たい雨にもかかわらず会場は満席。米山館長の挨拶に続き、参加23グループは、ピアノ、ギター、ハーモニカ、合唱など、折からの寒波を吹き飛ばす、熱く、温かく、そして時にほほえましい、地元ならではの演奏会をプレゼントしてくれました。出演者の皆さん、今年もたくさんのご来館をありがとうございました。



ミュージックバルサークルみかん

コールはぎ

二姫一太郎

マリブルー湘南



「土誌」を一冊の本にまとめてほしいという、声も聞きますが、30周年記念にどうでしょう？」

米山 藁品先生は、平成8年から8年間24回にわたって連載されていますね。

——お亡くなりになる直前まで連載されていました。もし原稿があれば、それらも展示していただきたいです。

米山 検討してみます。
——これからの館の方向性をどのようにお考えですか？

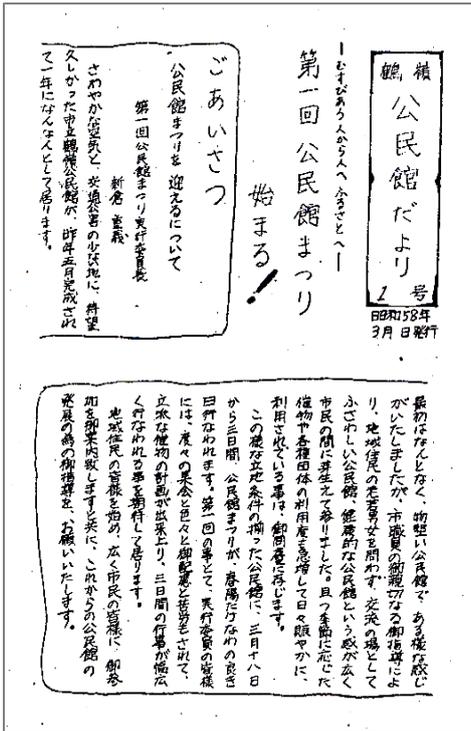
米山 「ロビー利用者や『まつり』参加者などを除いても、年間約5万人の利用者があります。
今年の公民館まつりのテーマ「学びあい 絆がつくる 地域力」、からもお判りいただけると思いますが、公民館は社会教育の場であると同時に、地域の絆を強める場、コミュニケーションづく

りの場でもあると考えています。

そういつた観点から、23年度は新規事業として小学生向けの「放課後広場」「夏休みサークル体験」を行い、子どもたちと地域との交流をはかりました。10月から始まった10代を対象とした『サブカル倶楽部』（6面）もその流れの上にあります。24年度には、シルバー世代の人たちの交流の場としての『遊マクラブ』（7面）を立ち上げます。

もともと鶴嶺公民館には、若い世代が参加する『サマーライブ』もありですが、さらに幅広い方々に集まっていただける場を積極的に作っていききたいですね。

——ややもすると引きこもりがちな定年後の男性もひっぱりだせるような（笑）魅力的な事業をお願いします。ありがたいとうございました。



『鶴嶺公民館だより』第1号。昭和58年3月発行で、前年の5月に待望の公民館が完成したこと、3月18日から3日間にわたって開催されることなどが書かれている。手書きでガリ版刷り。

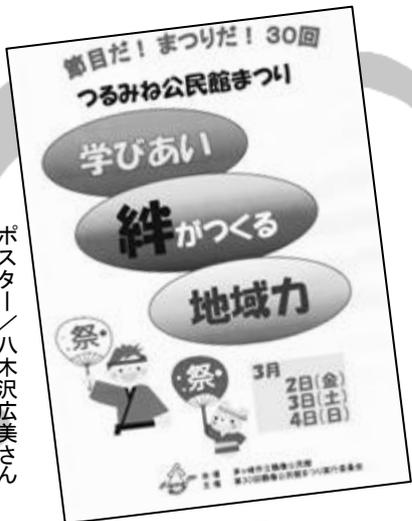
公民館 まつり

見どころガイド

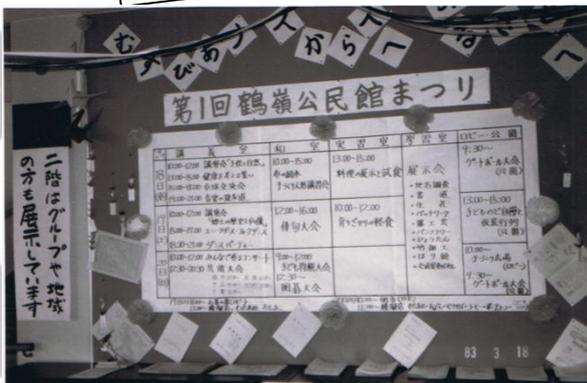
来る3月2日（金）、3日（土）、4日（日）、「学びあい 絆がつくる 地域力」をテーマに、つるみね公民館まつりが開催されます。

30回の節目を迎え、今回から新たに加わったものには、『どんぐりさんの手作りおもちゃ』（廃材や身近な素材で作るおもちゃ作り体験）・陶芸教室作品の展示・サブカル倶楽部の「同人誌」の配布などがあります。

30回記念企画として、これまでの公民館まつりのテーマやポスター、残されている貴重な資料や写真の展示も予定しています。



ポスター／八木沢広美さん（下町屋）の作品



古いアルバムに残されていた『第1回鶴嶺公民館まつり』のプログラム飾付け写真。（昭和58年3月）

まつり実行委員会企画は、陸前高田市で被災者として、新聞記者として震災を体験した、『東海新報』編集部・木下繁喜氏を講師にお迎えして 講演会『3・11に何が起こったか？—巨大地震に備えて体験から学ぶ—』を開催。バザーの売り上げの一部は被災地への義援金に充てることになっています。



ふるさと…新たな発見！もっと知ろう！

つるみね探訪

公民館の主催事業に参加、ふるさとの歴史と自然を訪ねて、鶴嶺八幡宮～旧相模川橋脚を歩いてみました。

協力／ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会



↑参加者全員で記念撮影。(鶴嶺八幡宮)

↓境内の様々な遺物から鶴嶺八幡宮の歴史の重さを再認識しました。



↑平成 23 年 11 月 5 日(土)、午前 9 時 30 分、公民館に集合。ガイド役の「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館の会」会員・田中節夫さんからコースの説明を聞く。

『つるみね探訪』は、テーマを地域の歴史・産業・人などに広げて新年度も実施されます。ぜひご参加ください。



↑関東大震災(大正 12 年=1923)で出現した旧相模川橋脚(国指定史跡)。隣接する県衛生研究所で、東日本大震災による福島原発事故後の放射線量が測定されている。



今回お世話になった田中節夫さん(浜之郷在住)

↓昭和 57 年(1982)に復元された弁慶塚で、塚の由来を説明される田中さん(左から二人目)



親子で行く！ 秋の防災体験バスツアー



秋空の下、バスはまず厚木市『ぼうさいの丘公園』へ。子どもたちは大喜びで長いローラーすべり台やアスレチックなどで楽しく遊びました。ここは耐震性貯水槽、備蓄倉庫、ヘリポートなどを備えた立派な防災施設。楽しさと頼もしさを兼ね備えたすてきな公園です。

ワイワイお弁当を食べた後は、『神奈川県立総合防災センター』へ。ここでは地震、風水害、火災、ビル火災による煙など、様々な災害を体験できます。その時何ができるか、どうすればよいのか、子どもたちは楽しく、親はまじめに考えさせられました。

昨年は東日本大震災、大型台風など、自然災害の恐怖を実感した年でした。自然の前に無力な私たちができるのは、いつも心にとめて少しでも備えること。センターの方の「東海地震に備えて」の言葉をかみしめながら、夕焼けの帰りのバスでは、子どもたちの笑い声のある、穏やかな日常に感謝したいと思いました。



↑平成 23 年 10 月 29 日(土)、神奈川県立総合防災センターで、はい、ポーズ！ 楽しくて、とても有意義な 1 日でした。

つるみね 歴史マップ

今回歩いたコース
全行程 2時間30分



イラスト/茶々丸



↑平成23年11月11日(金)、午前10時~12時まで、岡先生の指導でリフレッシュ体操。子どもと一緒にできるのが魅力です。

子どもを生んで子育ての日々が続く中、ふと腕や腰などに、だるさや疲れを感じる事があります。

この悩みを解決してもらうため、今回は茅ヶ崎で開業されているカイロプラクティック理学士の、岡 大(まさる)先生にお願いいただきました。

先生は骨の模型を持参し、産後の骨の動きなど、素人(しろうと)の私たちにも分かりやすく説明して、実践においても、子どもと一緒にできるストレッチを、一人ひとりの見回り指導してくださいました。

テレビや雑誌でも、骨盤体操は情報として入りやすいと思いますが、実際に聞いて、見て、体験するのがいちばん効果的だと思いました。

*メンバーの希望でやってみたいイベント、お話を聴きたい先生に来ていただき、講座として皆さんに公開しています。子育て中の方、ティータイトムしながらの企画メンバーに入りませんか？

子育てママのリフレッシュ体操



サブカル倶楽部

昨年の10月に誕生したばかりの『つるみねサブカル倶楽部』には、現在小学高学年から中学生の女の子ばかり20数名が在籍。
 毎週土曜日の午後、印刷室に集まってイラストを描いたり、音楽を聴いたり、アニメのDVDを観たり、お菓子を食べたり、おしゃべりしたり、お誕生会をしたりして過ごしています。とっても楽しくてにぎやか……(汗)。

でも、ちゃんと公民館活動にも参加、暮れの「大ぞうじ」でもカンバリました。クリスマスにはロビー展も開いたし、3月にはなんと同人誌を発行して、「公民館まつり」でおひろめする予定です。「まつり」当日は、ホールでケース内係を務めますので、皆さん、見かけたらぜひ声をかけてあげてね。



↑土曜の午後の印刷室は超にぎやか♡



私たちが描いたイラスト。カラーでお見せできないのが残念。



ロビー展で、イエ～イ!

↓初めてのクリスマス・ロビー展。



↓イラストの参考にするコミック本。



合い言葉は“歌と笑顔と友情”



『サブカル倶楽部』、いっしょに楽しもうよ!
 土曜の午後(1時30分)公民館の印刷室で待ってるよ♡



公運審だより

今年度の公運審の活動の概要は次の通りでした。

公運審会議の開催

6月/23年度予算について 他
9月/公民館主催事業、特に次世代育成に関する事業充実のための関係団体・サークル等との連携のあり方について 他

12月/①24年度の主催事業について ②9月に取り上げられたテーマについて継続審議 他
2月/答申案について 他

利用者懇談会への出席 (5月・9月・1月)

研修会等への出席 (5月・8月・9月・11月・12月・1月)

その中から昨年12月15日に開催された研修会について報告いたします。

「社会教育施設における主催事業と今後のグループ活動のあり方」と題して、38年間に亘って公民館と社会教育行政に携わってこられた片野親義氏にお話を伺

いました。

講演の中で氏より、「公民館の主催事業は、利用者の学習のスタート・きっかけ作りの場として、生涯学習の面で意義深いのが、現在開催されている主催事業はそこまで留まっていけないだろうか？ 現代社会が抱えている諸問題や地域の動きを直視した取り組みとなっているか？ 学んだものが他者のために生かされる工夫をしているか？」の問いかけがなされ、「公民館が作られた目的に立ち返り、公民館で学ぶとはどういうことなのかを、職員はじめ利用者も、もう一度考え直してみる機会を持つべきである」という提言がありました。

運営審議会委員・吹谷 みずえ

利用懇だより

第30回つるみね公民館まつりが平成24年3月2日・3日・4日に開催されます。今回のテーマは「節目だ！まつりだ！30回！学びあい 絆がつくる 地域力」

と決まりました。

3月11日東日本大震災後、災害に対する関心は高まる一方です。そこで、まつり実行委員会企画として、「防災」を取り上げる事になりました。節目の年の公民館まつりを大いに盛り上げましょう！

私事ですが、私は福祉団体の会の一人として、毎週公民館を利用していただいております。この会は、30年前、障害者トイレやスロープのある鶴嶺公民館が開館した事で、「高齢者も障害者も健全者も共に隔てなく暮らしていられる、明るい地域づくり」を願い、発足しました。以来、館の職員の皆様をはじめ、利用者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご支援のお陰で仲間づくりを続けて来る事ができました。そして、会の理念は公民館を中心に確実に広がり、大きな強い絆となりました。鶴嶺公民館と共に、私どももの会も30周年を迎えられる事を大変嬉しく思っております。

利用者懇談会世話人会・石井 幸子

平成24年度新規主催事業 『遊々クラブ』からのお知らせ

『遊々クラブ』は、シルバークラブ世代を対象に、料理や趣味の講座、散策、茶話会を通して、地域の方々同士が交流を深め、第二の人生を心豊かに生きていただくための平成24年度新規主催事業です。原則として毎月第一土曜日、子ども室にて開催予定(スケジュールは、次のページをご覧ください)です。

公民館では、現在その企画・実行のお手伝いをしていただく企画員『かさねの会』会員を募集しています。皆さんが、楽しみたいこと、知りたいこと、学びたいことを『遊々クラブ』で実際にやってみませんか？ 楽しいクラブを一緒につくりましょう！ まずは公民館までご連絡ください。



館長(手前)を交えて企画会議中の『かさねの会』の皆さん。

館からのお知らせ

LED化で節電・エコ講義室へ
(株)コタックに感謝状贈呈

皆様、お気づきでしょうか？ ひとときわ明るくなった講義室。昨年11月に市内事業者の(株)コタック(尾坂久夫社長)からの、「地元に貢献したい」との申し出によりLED蛍光管のご寄付をいただきました。

LED化により消費電力削減による節電、そして長い耐用年数、CO2排出量削減による温暖化対策にも役立ちます。年間約3万円余りの節約になるとのことです。11月21日(月)に市長から(株)コタック関係者に感謝状が贈呈されました。



服部市長(中央)から尾坂社長(左から2人目)に感謝状が贈られました。(平成23年11月21日・市長応接室)

【春の主催事業】

遊々クラブ

4月7日(土) 10:00～12:00

茶話会とミニ水墨画講座

- ・会場 子ども室
- ・定員 20名
- ・費用 2000円
- ・申込み 3月10日(土)



5月12日(土) 10:00～12:00

小出川散策

- ・定員 30名
- ・集合場所 子ども室
- ・申込み 4月7日(土)

道ぞいに風力発電機十基風車の羽根はゆつくり回る

アイスクリーム食べ比べするわれら見て夫婦だねえと七歳の言う

宇宙から送られてくる映像は息づく都市の細かな灯

寡黙なる白鷺のゐる時ゆるく暮れつ宇宙に吸われてゆきぬ

鈴木 朝子

坂本 敦子

高橋 厚子

小松原 治子

子どもの広場

4月21日(土) 10:00～11:30
5月19日(土) 10:00～11:30

*詳細未定

横浜散策

*5月に開催予定・詳細未定



写真は昨秋の「横浜散策」のスナップ。次回のご参加をお待ちしています。



投稿・つるみね短歌会

紙面作りにご協力ください

●原稿募集

- 詩・短歌・俳句・川柳・ミニエッセイ・絵手紙・書道・写真・イラストなど、作品を公民館までお寄せください。
- テーマは自由ですが、公序良俗に反するもの、公民館だよりにふさわしくないものは掲載できません。
- 応募作品の返却はできません。
- 文章はスペース等の関係上等で、手を入れさせていただく場合があります。
- モニター募集(小学校3年生)
- 「つるみね」に対する様々なご意見をお聞かせください。

編集後記



*「校正を」との話を気軽に引き受け、Oさんとふたり『つるみね』に携わって16年。色々なことがあったけど、皆さんのすてきな方々に出会えたことは、私の「宝」だ。感謝 (京)

*かわいいメジロが姿を見せ、庭先の南天や千両の実をついばんでいる。今年ハトまでが2、3羽仲間入りしている。今まで見られなかった光景です。 (寿)

*『つるみね探訪』に参加して散策してみました。鶴嶺地区の宝を再発見、次回は皆様も一緒にいかがでしょうか。 (星)

*今号の表紙の「写句」の作者は、俳句サークル『鶴水会』の熊澤梅子さんです。「写真を見て作ったのは初めて、梅が名前とかぶるわね」とおっしゃっていました。春らしいすてきな句をありがとうございます。 (初)

*幼児から高齢者まで、公民館は幅広い年齢層の方々が様々な形でご利用になります。この多くの皆さんに、少しでも興味を持って読んでいただける紙面にしていきます。編集員一同毎号頭をひねっています。「つるみね」に対するご意見やご感想を公民館までお寄せください。参考にさせていただきます。 (博)